

# 会 報 第 5 号

1985・1  
日本家庭科教育学会  
中国地区会

## 地区会総会・研究発表会・授業実践報告会

昭和59年度の地区会総会と研究発表と今回は趣向を変えて教育現場の授業実践報告の行事は、昭和59年8月25日に島根大学教育学部を会場に島根県の会員のお世話で開催された。参加者は45名、以下にその大要を報告する。

### 昭和58年度決算書

(自昭和58年1月1日 至昭和58年12月31日)

[収入の部]

費 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	55,858	55,858	
地区会費	100,000	125,000	125人
本部からの還付金	25,200	23,520	280円×84人
教大協二部会からの補助金	0	35,000	
雑収入	2,000	2,191	預金利子
合 計	183,058	241,569	

[支出の部]

費 目	予 算	決 算	備 考
総会費	40,000	46,410	
通信費	30,000	15,330	お知らせ・会報郵送費
事務用品費	20,000	10,960	封筒・ゴム印
会議費	10,000	0	
会報印刷費	30,000	45,000	
雑費	5,000	0	
予備費	48,058	17,000	名簿印刷費
次年度繰越金	-	106,869	
合 計	183,058	241,569	

## 事業計画

研究発表会を持つ、会報は内容充実したものを発行する。さらに、地区として特色ある共同研究をする。

## 地区会総会

開会のことば・地区会長挨拶について、報告として昭和58年度の事業・会計・監査報告がなされた。審議として昭和59年度の事業計画・予算について審議がされ、最後に昭和60年度の総会並びに研究発表開催地を決定した。

### 昭和59年度予算書

(自昭和59年1月1日 至昭和59年12月31日)

[収入の部]

費 目	予 算	備 考
前年度繰越金	106,869	
地区会費	100,000	100人分
本部からの還付金	30,800	385円×80人
教大協二部会からの補助金	30,000	
雑収入	2,000	預金利子
合 計	269,669	

[支出の部]

費 目	予 算	備 考
総会費	50,000	プログラム、アルバイト手当等
通信費	40,000	会報・案内状等郵送代
事務用品費	20,000	用紙・封筒等
会議費	15,000	役員会費等
会報印刷費	60,000	
雑費	10,000	
予備費	74,669	
合 計	269,669	

## 昭和60年度地区総会並びに研究発表開催地

各県持ち回りのルールからいけば山口県であるが都合で広島県で8月に開催する。



# 中学校技術・家庭科における着装の指導 —島根県の場合—

島根大学教育学部  
島根県立松江南高等学校

多々納 道子  
○大島 麻里

<目的>  
 中学校技術・家庭科の被服領域は、衣生活の变化、生徒の発達段階の検討が実了した段階や男女相互乗り入れの実施など、考慮する必要がある。指導は、衣生活の現状に合わせた実践過程の中で今後は主要なポイントをついてアンケート調査を行い、望ましい着装の指導のあり方を検討した。

<方法>  
 調査対象は島根県内の公立中学校の家庭科主任120名で、有効回収92名、有効回収率76.7%であった。調査時期は昭和58年9月上旬～10月上旬で、調査方法は質問紙法で郵送調査による。

<結果>  
 ① 着装の指導上の問題点としては、指導内容の量と程度について、半数以上が「適当」と答えていたが、実際の授業展開は、約半分のものが「難しい」と答えていた。教材研究が基礎的であるにもかかわらず、指導方法が多岐にわたる。指導方法全体として、現在の学習指導要領に基いて、着装の指導は、現在の着装の指導よりも、着装の指導と関連関係をもつ「特別に時間を確保して指導する」という連関の強いものがある。現在の着装の指導は、着装の指導と関連関係をもつ「特別に時間を確保して指導する」という連関の強いものがある。現在の着装の指導は、着装の指導と関連関係をもつ「特別に時間を確保して指導する」という連関の強いものがある。

デジタイザーによるなみ縫い縫い目の数量化について	
岡山大学教育学部	西村 綾子 ○大倉 美恵
岡山大学工学部	大崎 祐一
<p>(目的)</p> <p>なみ縫いの指等において、縫い目の大小不均一(均一性)、おとり目(速脱度)は、縫い目の質的側面として重要であるが、これらを評価することは非常に煩雑である。これまでに研究された報告は数例みられるが、その客観性にはなお検討の余地があると思われる。このたび、マイクロコンピューターとデジタイザーの使用によりこれらを数量化することが可能であることが判明したので報告する。</p> <p>(方法)</p> <p>1. 実験材料</p> <p>(1) 実験材料の作成者  W, Y …… 昭和58年度 岡山大学教育学部 被服構成実習B履習者 2名  O …… 短大教政科の被服構成助手 経験年数5年 1名</p> <p>(2) 実験材料作成条件  ・用布・糸・針 …… 市販でらし布、市販手縫い糸巻手<math>2\frac{1}{2}</math> 糸色、ガス針 2号  ・指めき …… 長針用指めき使用  ・期間 …… W, Yについては昭和58年10月中旬～翌59年3月上旬  Oについては昭和59年5月下旬～6月下旬  ・実施回数 …… Wは7回、Yは6回 Oは5回実施  ・方法 …… 2分間のなみ縫い。</p> <p>2. 測定</p> <p>(1) 測定機械 デジタイザー、マイクロコンピューター  (2) 方法 ①基準線 ②1目の長さ ③1目の角度 ④縫い目から基準線までの距離 について測定</p> <p>(結果) デジタイザーによるなみ縫い縫い目の数量化の試みにより以下のことが判明した。</p> <p>1. 縫い目の大きさの均一性  なみ縫い縫い目の大きさは、縫い目の大きさの値だけでなく、測定値の不偏分散値を求めるとにより均一性を数量化することが可能であり、習熟した縫い目は不偏分散値が小さい。</p> <p>2. 縫い目の速脱  縫い目の速脱は、基準線と縫い目のなす角度と基準線から縫い目までの距離と測定することで数量化が可能であり、角度・距離の測定値が小さく不偏分散値の小さいものは速脱の状態が少しい。</p> <p>以上の通り、縫い目の大きさの均一性と速脱度は、縫い目の大きさ・角度・距離の3項目についての平均値・不偏分散値による数量化が可能である。今後、この数量化を使用し縫い目の客観的評価方法を探ってゆきたい。</p>	

# アメリカの家庭科教育 — 中・高技の食物領域 —

広島大学学芸教育学部 桑原 敏子

## 〔目的〕

科学技術の進展にともない経済成長や社会文化の変化が家庭生活に大きく影響してきている今日、学校教育の家庭科に対する評価はきびしくその改善が望まれている。そこで、外国の家庭科教育（ここでは、U.S.A.の中・高校食物領域）を考察し、一つの指針を得ようとするためである。

## 〔方法〕

U.S.A. — a curriculum guide for consumer and  
homemaking programs in new jersey grades 7-12  
Foods and Nutrition (1980年版)

日本 — 中学校指導書技術・家庭編 食物領域 (1978年版)

・高等学校学習指導要領解説家庭編、家庭一般・食物  
(1979年版)

上記指導書と比較考察し、アメリカの特色を見い出す。

## 〔結果〕

1. 目標 7-12年を初・中・上級の3レベルに分け、各レベルに7, 4, 4の目標をあげ、各目標にそれぞれ教項の行動目標を示している。栄養、献立、食品の特質と選択、調理に関する知識・理解、技能、態度・習慣以外に、食物関係職業についての認識、消費者運動に関する理解、食物が人の心身両面に及ぼす役割の理解、食物に関する経験としジャー、創造活動、職業の機会へのひろがりとの関連の理解など、日本より広範囲にわたっている。

2. 内容 前記目標にしたがって日常生活で経験すると予想される具体的場面を想定して、食品産業企業とそのなかの職種、その職種と個人の特性との関連、消費者の権利と義務、食品に関する規制と政府機関、広告の影響、世界の飢餓、屋外の食事、レストランの食事、園芸などがとりあげられている。

3. 指導方法 生徒を指導者の立場にたてる。ゲームなど取り入れ楽しみながら学習させる、教室外の実際場面で学習させる、専門家や造詣深い人の講演をきかせるなどの手法が多くとられている。

4. まとめると、日本は調理実習中心に計画されているのに対して、生徒の現実の食生活全体から総合的に計画されている。

# 子どもの生活的自立に関する研究 — 家庭科教育との関わり —

鳥取大学教育学部 田結庄 順子

(目的) 今日の子どもの発達の中がみはますます深刻な状況を示し、特に自立に関して、検討されねばならぬようになってきている。また、学校教育の中で、自立を促す教材をどう構成するかは課題となっている。本研究はそれらの基本的な方向を採るための一つの提案をするものである。

(方法) 筆者らの行った1982年の「子どもの家事労働に関する調査」、兵庫県府中小学校の「ひりたろ調査」等より子どもの実態を明確にし、それに基づき、子どもの生活的自立の進め方と教材を提案する。

(結果) 1982年の調査においては、家事労働に参加している子どもの実態は非常に貧しい。特に男子の参加の状況は小学生から高校生まで低率である。しかし、性別分業においては、男子の任事と思われる項目は他の項目とは異なる方向を示している。

府中小学校の「ひりたろ調査」は子どもの生活点検のみならず、学校ぐるみ、家庭ぐるみの地域の教育力の回復をめざすものであり、生活的自立のめり方を採る上で強力な手がかりとなった。

これらを通じ、家庭科の教材として扱う場合の視点としては、生活事象の原型、原点、原体験を重視し教材化していくことが重要となる。

## 高校家庭科内容に関する男子生徒及び両親の意識調査

松江西高校 本岡節子  
井原都子

### (目的)

社会や家庭の変貌が叫ばれて久しいが「国連婦人の10年」の終了と目前にして高校家庭科の男女共修問題もいっそう腐まりを見せてきた。

本校においても今後何らかの形で男子の家庭科履習を考へる時期に来ている。そこで家庭科教育の内容、特に男女共修の内容のあり方を考える資料とするために本調査を実施した。

### (方法)

本校2年男子生徒108名とその両親を対象として、昭和57年9月質問紙法による調査を実施した。

### (結果)

結婚に関する意識については、男子生徒は夫婦の相互理解協力を期待してはいるものの家計のやりくり、整理、整頓等に性別役割分担意識が見られた。また両親については、父母共に子供よりもいっそう強い性別役割分担意識が認められた。

家庭科教育内容については、生徒は対社会的な項目に例しては、関心を示し学校教育への期待も大きい。衣、食、保育等の具体的な内容には拒否的であった。また生活の現実に対する認識の甘さが見られた。両親は、全般的にみれば家庭科教育の必要性を認めており学校教育にもある程度の期待を寄せていることがわかった。

高校家庭科の男女共修については生徒はどちらかといへば「反対」、両親は賛成の傾向が見られた。

## 中学校の食物領域における実践例

安来市立第一中学校 北野清美

学習への興味関心を高めその定着を図ることを目指して、「食物1」の指導に視聴覚教材——16ミリ映画——を使用したので、その実践を報告する。

食物領域学習に関して女子生徒の実態は、調理実習に大きな興味を持っているが、栄養の学習は意欲的でなくその徹底はむずかしくとかく座学に終って生活化できにくい。学校給食の食事量を見ると3年女子に残す生徒が多く理由は太ることを気にしているためである。また、運動クラブ活動する男子生徒にも食事量の少ない生徒がいる。

これらの実態から、栄養学習への興味関心をこし知識の定着を図りさらに実践化生活化を図るために、「栄養障害」の16ミリ映画をみせることが効果的な動機づけになると仮説をたて、視聴させた。生徒の反応をグループ毎に話し合わせまと

めさせたが、ねずみのビタミンC欠乏による脳の働きの低下にショックをうけたり成長期の栄養のバランスの大切さを痛感したり、栄養への関心の深さを示している。

これら生徒の感想を基にし、「食物1」男女共学20時間の指導計画を立案し指導を行った。

さらに、生活化を目指して「栄養新聞」(B4版の大きさ)をグループ毎に作成させる試みを行った。生徒は読んでもらう新聞作りに精力を注ぎいろいろ資料を調べてまとめた。

その結果、生徒は栄養学習を身近な大切な学習と積極的に取り組み身につくものが多くみられた。それとともに、学習過程でそれぞれ個性を活かしており友人の良さを発見し合う場面があり、教師も生徒の個性が発見でき人間形成の指導ができたことが大きな収穫であった。

(文責 事務局)

### 映画「栄養障害」をみて

ただバランスのちがった食事ですべての栄養が足りなくなるとは思わなかった。

これからはバランスのとれた物を食べ、また、間食などをやめて食事はのこさず食べよう。

ネズミのじっけんでもわかるように、えいようを不足するとしんけいがぶくなくなり体にいろいろ変化が出てくる。

バランスのとれない食事で成長をとぎすなんておそろしい。又、太りすぎてもこまるということがわかった。それは、しぼうが心ぞうに悪いということだ。

これからバランスのとれた食事をとろう。  
◎えいようをとらないといけなけれど量がわからない。 Y.S (男)

### ◎……こんなことを調べたい。

この映画「栄養障害」はとてもためになりました。家族の人などにおしえてあげて、みんなにも気をつけてほしいと思います。一つの栄養でもかけるとすごいことになるんだなあとあらためておそろしくなってきた感じだ。私はあまり何も不促していないようで骨がおれたり、ひんけつぎみになったりしません。

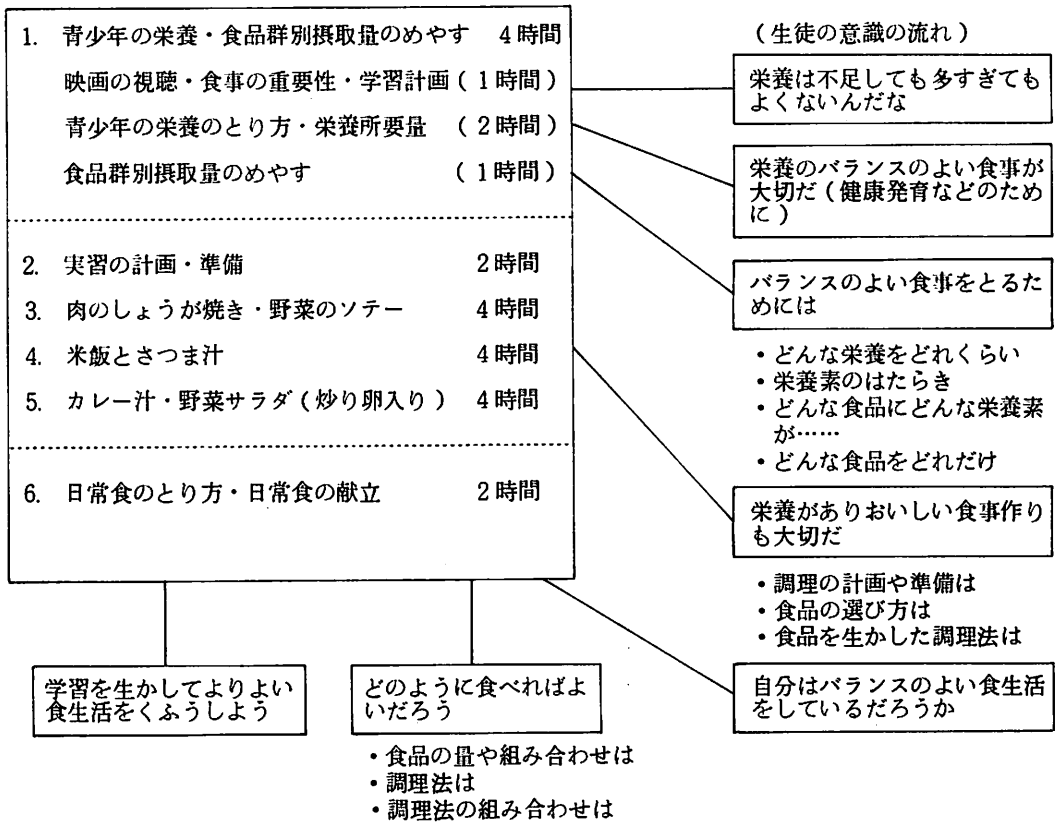
これからも正しい食事をして、バランスよくやり、いつまでも健康でいようと思います。

- ◎ 私の家でも栄養についてよく考えてみようと思います。でもなぜ日本人は、カルシウムやビタミンを食べないのか知りたいです。
- ◎ ビタミン、カルシウム、鉄分などの働きなどがもっとくわしく知りたいです。

K.M (女)



食物 1 指導計画(1年男女共学・20時間)



展 開 (指導計画1の1時間)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	教材・教具等	時間区分
(1) 食事の重要性について考える (2) 映画を視聴する	・映画視聴の動機づけをする ・間接的体験を与えることにより関心を高め学習への必要感・問題意識にめざめさせる	16ミリフィルム(内容) ・栄養障害 ・中学生の栄養のとり方 ・食生活のあり方	(1/4時) 20分
(3) 視聴したことを整理し、感想をまとめて発表する ・栄養障害のおそろしさ ・バランスのよい食事の大切さ ・自分の食生活の見直し (4) バランスのよい食事をとるための学習問題について話し合う	・感想をもとにして食事の重要性をしっかりと認識させる ・学習のねらいに近づくように方向づけ焦点化を図る	プリント(1)	30分
(5) 調べ学習についてグループで相談する ・学習問題 ・調べ方 ・分担 ・内容 ・表示方法	・教科書・資料・技家ノート問題等を参考にさせる ・協力して能率的に取り組ませる	プリント(2)	(2/4時) 20分

(以下 略)

## 高等学校の保育領域における実践例

広島県立三原高等学校 永尾忠子

生徒に物事に主体的に取り組む能力や態度を育成するための教育のあり方が今日大きな課題になっている。この課題解決にむかって家庭科では如何に指導すべきか、私は、保育領域で放送教材を利用して生徒の意識を高め、さらに保育実習の体験をさせることによって主体的態度の育成へつなげる指導を行ったので報告する。

「家庭一般」の保育領域20時間の指導内容は資料授業展開の内容のとおりである。

学校放送テレビ番組高校特別シリーズ「新しい保育」5本を続けて視聴させメモを取らせる。これを項目に従って整理した結果、母性の健康についてはかなり内容をとらえているが乳幼児の保育については不十分な面があるので実習を行わねばと考えた。そこで、テレビ視聴からいろいろイメージを引き出し、ホームプロジェクトで遊具を製作させ、それによって遊びの実習をさせた。そし

て ①テレビ学習と②テレビ学習を実習に発展させる学習を生徒の自己評価によってみると、知識・意外性・保護のあり方の観点項目については両者の差は少ないが、興味・関心・実感・発見・達成度の観点項目については実習学習の方が有意に高い値を示している。能力や態度など情意面の学習はテレビ学習だけでは不充分で実習学習へ発展学習させてはじめて育てられる。

このあと生徒自作のお店屋さん・動物園・パズルなどの遊具を用いて遊びの実習の録画をみせられた。幼児は、生き生きと動き発音も活発で楽しそうであり、遊ばせている高校生の動きや表情も生き生きとし、幼児と一体になって楽しい雰囲気である。

生徒はテレビを視聴する学習から、子供をみる目ができており、また創作遊具を作っている。その遊具を使って遊びの実習をするなかで幼児に対する豊かな感情や愛情が育っている。

(文責 事務局)

### 生徒の感想文

#### 最後の保育実習を終えて

今までの保育実習は、どちらかというと受身でただ単に子供達と遊んで、その中で子供の成長を見てきた。

しかし、今度は私達で作った紙しばいで子供達の反応を見ることが出来て、以前までの実習とは少し違った形で子供達を観察することが出来た。最初は私達の作った紙しばいをどんな風に見てくれるか興味がある反面心配だったが、子供達が真剣に紙しばいを見てくれて話もきちんと聞いてくれたのでうれしかった。

紙しばいを作り始める時は子供達にわかりやすく興味を引くものをもっていろいろ苦心し

たが、子供達が大変喜んでくれたようなので作ったかいがあったと思った。紙しばいを読んでいる時、子供達は素直な澄んだ瞳で私達の書いた絵を一生懸命見ていた。私はその素直な心と澄んだ瞳をいつまでも持ち続けてほしいと思う。そして私も子供から多くのことを学ぼうと思う。

作った時は少しむずかしいと思っていた紙しばいも、子供達はきちんと理解してくれたので、今は達成感でいっぱいである。

## 指 導 目 標 の 分 析

学習項目	到達目標	達成目標			向上目標			体験目標		
		認知的領域	情意的領域	精神運動的領域	認知的領域	情意的領域	精神運動的領域	認知的領域	情意的領域	精神運動的領域
		知理な 識解ど	興関な 味心ど	個別技能ど 個別技術ど	創造性 など	育ての 心価ど	練達性 など	発見 など	触れあ い感ど	技術的 達成感ど
母性保健	□ △ ○	□ ○		□ ○	□ ○		△	○		
乳幼児の心身 の発達	□ △ ○	□ △ ○	△	△ ○	△ ○	△	△ ○	△ ○	△	
乳幼児の成長 と家庭及び 社会	□ △ ○	□ △ ○		△ ○	△ ○		△	△		
乳幼児の遊び と児童文化	□ △ ○	□ △ ○	△	□ △ ○	△ ○	△	△	△	△	
乳幼児の生活 指導家庭看護	□ △ ○	□ △ ○	△	□ △ ○	△ ○	△	△	△	△	

□ = 教室での教師の指導による

△ = 保育所での実習およびそれともなう活動による

○ = 放送教材「お母さんになる」「赤ちゃん誕生」「0歳児」「3歳児」「5歳児」

### 授業展開の内容

### 実習での主な観察項目

放送による学習 ————— 発展学習

経験 問題意識・資料収獲……考案

吟味……解決表現……達成、発展

5月 保育実習

高校特別シリーズ	「新しい保育」TV視聴
	お母さんになる    話合い
	赤ちゃん誕生        //
	0歳児                //
	3歳児                //
5歳児                //	

クラス内対話

7月 ————— (A)保育実習

8月 ————— (B)ホームプロジェクト(遊具の製作)

9月 ————— (C)保育実習

11月 ————— 家庭クラブ活動(作品の  
展示と活用)  
地域「みはら福祉月間」  
に参加

1月 ————— (D)保育実習

- 遊び…(社会性、(人との関係)ともだち、先生、生徒(お姉ちゃん)など。
- 衣……(衣服、おむつ、寝具)など。
- 食……(給食、おやつ)など。
- 住……(各年齢幼児の部屋、園の設備)など又、観察をもとに、次のことを記録させるようにした。
- 研究……理論学習の必要な内容。
- H・Pで深めたいこと。
- 製作(児童文化財)にいかしたこと。
- 次回の保育所での実習にいかしたいこと。

## 付 記

永尾先生の、保育に関する一連のご研究に対して、第21回放送教育賞を日本放送協会理事会から昭和59年12月に受賞された。心からお祝い申し上げます。

## 地区会員の移動

### 新入会員

(島根県)

池野 清子 島根県立松江南高等学校  
大島 麻里 島根県立松江南高等学校  
藤間 幸枝 松江第一高等学校

(岡山県)

武藤 八重子 岡山大学教育学部  
大倉 美恵 岡山大学教育学部(院生)  
石原 公子 岡山大学教育学部(院生)  
藤井 忍 ノートルダム清心女子大学  
石井 昌子 岡山市立富山小学校  
川上 洋子 岡山市立宇野小学校

(広島県)

芦田 迪子 広島県教育センター

### 退 会

田中 幸江 (島根県)  
横山 芳枝 (岡山県)  
高橋 光子 (広島県)  
中村 喜久江 (広島県)  
山田 綾 (広島県)  
坂田 泰子 (山口県)  
浅川 八重子 (山口県)  
古谷 節代 (山口県)

## 昭和60年度中国地区会研究発表会予告

期 日 昭和60年 8月24日(土)

場 所 広島大学学校教育学部

詳細な案内と研究発表申込みについては、4月上旬に連絡いたします。日ごろの研究や授業実践をふるって発表くださいますようお願いしております。

世話人代表 広島大学 中間美砂子

### おことわり

例年のない厳しい寒さでございますが会員のみなさまには、お元気にご活躍のことと存じます。59年中にお手許にお届けすべき“会報第5号”ですのにたいへん遅れてしまいました。事務局の不手際のほどお詫びいたします。

60. 1. 31 日本家庭教育学会  
中国地区会事務局